

# 株式会社栄電子 平成20年3月期（第41期）中間報告書

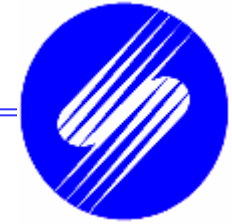
平成19年12月14日

株式会社栄電子

（JASDAQ市場 証券コード：7567）



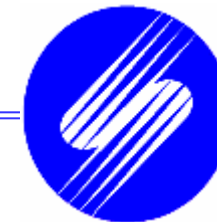
# 内 容



- 1 . 会社概要
- 2 . 栄電子グループ概要
- 3 . 栄電子組織体制
- 4 . 事業概要
- 5 . 当社グループの営業成績
- 6 . 販売構成
- 7 . 主要取り扱いメーカー
- 8 . 連結貸借対照表
- 9 . 連結損益計算書
- 10 . 売上高
- 11 . 売上高
- 12 . 営業利益
- 13 . 経常利益
- 14 . 税引後当期純利益
- 15 . 1株当たり当期純利益

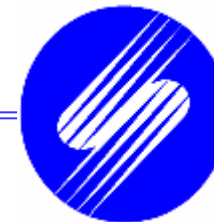
- 16 . 1株当たり配当金
- 17 . 1株当たり営業キャッシュフロー
- 18 . 1株当たり純資産
- 19 . 電子部品市場の動向
- 20 . 販売先業種の偏重是正
- 21 . T D K 商品販売への取り組み
- 22 . 中期経営方針
- 23 . 中期経営方針 社会的責任を果たす次世代の育成
- 24 . 中期経営方針 社会的責任を果たす次世代の育成
- 25 . 中期経営方針 各部門の役割理解と機能強化
- 26 . 中期経営方針 各部門の役割理解と機能強化
- 27 . 中期経営方針 各部門の役割理解と機能強化
- 28 . 中期経営方針 各部門の役割理解と機能強化
- 29 . 中期経営方針 物流機能の強化と基幹システムの刷新

# 1 . 会社概要



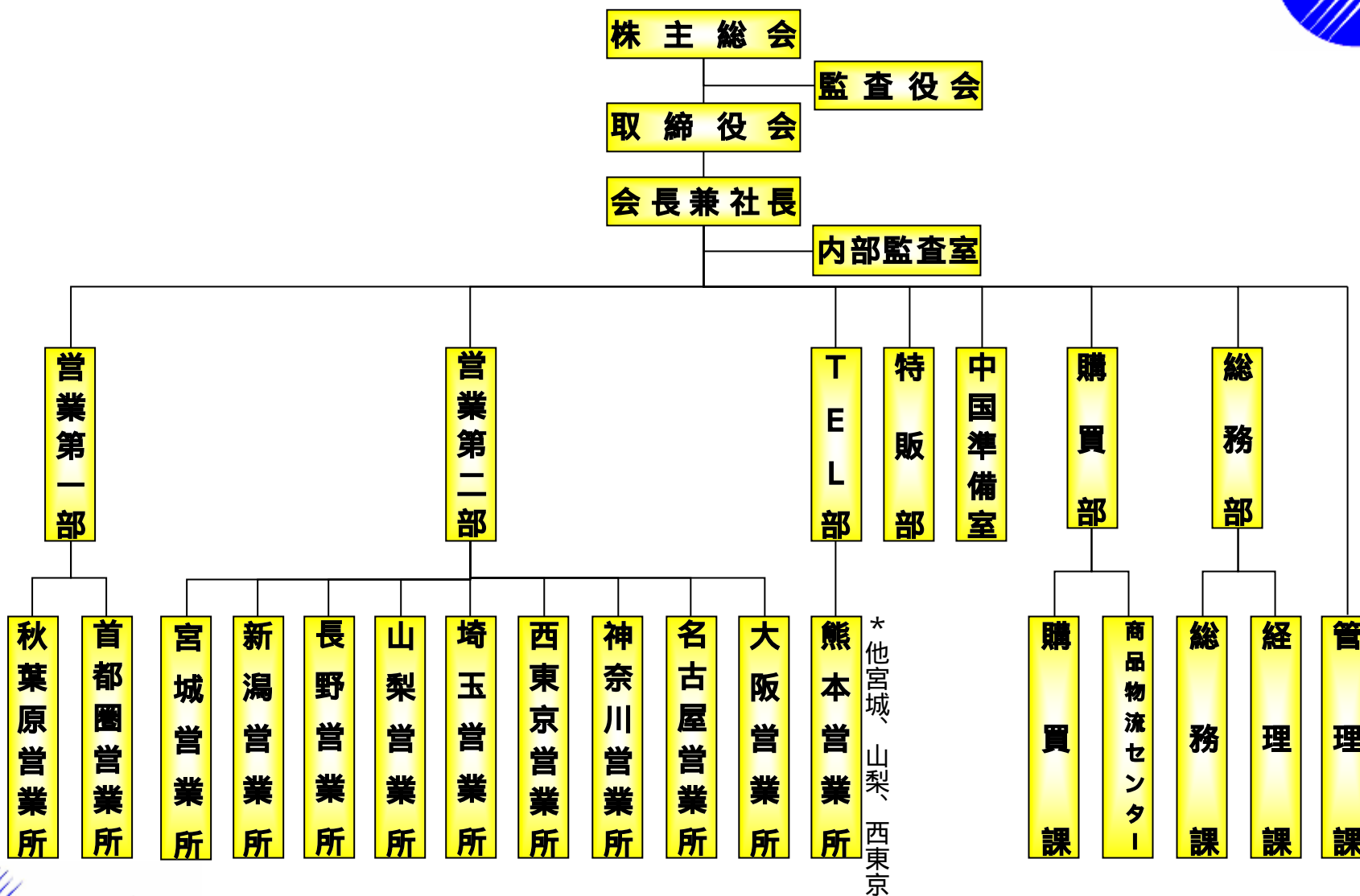
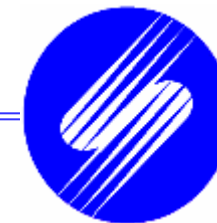
社 名：株式会社 栄電子  
(SAKAE ELECTRONICS CORPORATION)  
設 立：昭和43年(1968年)2月  
資 本 金：5億円  
売 上 高：平成19年9月中間期 40億7,136万円(連結)  
事業内容：電子部品総合商社  
従業員数：72名(外・平均臨時雇用者数46人)(平成19年9月)  
販売拠点：首都圏営業所、秋葉原営業所、宮城営業所、  
西東京営業所、神奈川営業所、埼玉営業所、  
山梨営業所、長野営業所、新潟営業所、  
名古屋営業所、大阪営業所、熊本営業所、  
関係会社：東栄電子株式会社、株式会社夕チバナ電子、  
酒東不動産管理株式会社

## 2 . 栄電子グループ概要

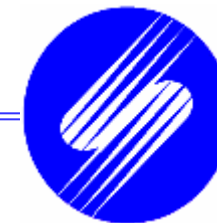


- ◆株式会社栄電子 【当 社】
- ◆東栄電子株式会社 【子会社】  
産業用電子部品の販売
- ◆株式会社タッチバナ電子 【子会社】  
産業用電子部品の販売
- ◆酒東不動産管理株式会社【子会社】  
不動産の管理

### 3 . 栄電子組織体制



## 4 . 事業概要



栄電子は、技術革新や需要変化の激しいエレクトロニクス業界において、メーカー系と一線を画す秋葉原発の独立系商社として、少量多品種・短納期をモットーに、高付加価値の電子部品を提供しております。

### 取扱商品項目

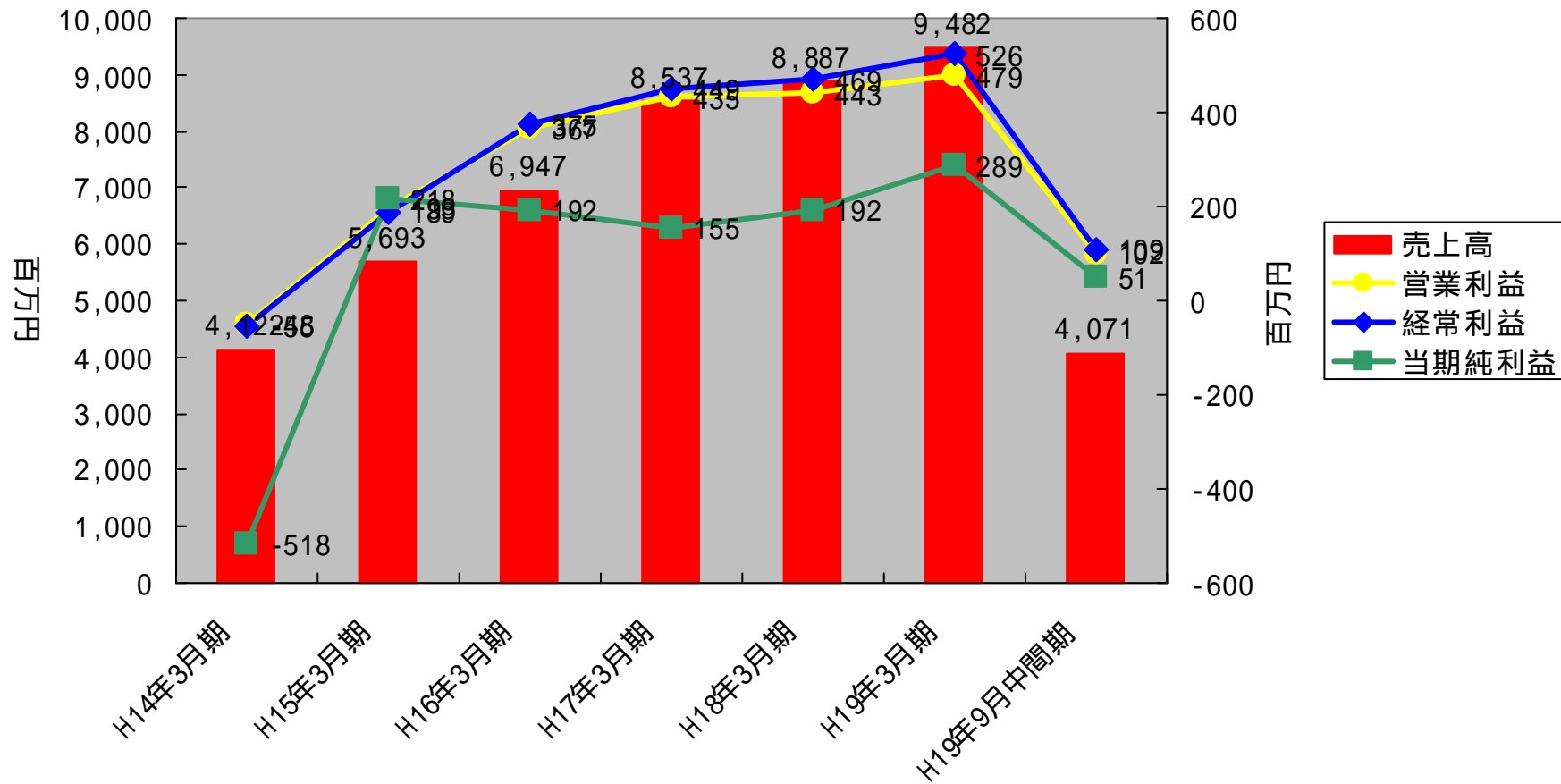
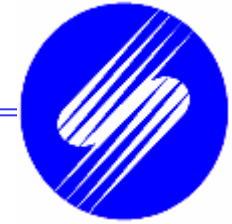
#### **【一般電子部品】回路部品・機構部品・電源機器**

コイル、チョーク、抵抗器、コンデンサ、水晶振動子、センサ、モーター、プリント基板、ファン、コネクタ、ソケット、スイッチ、キーボード、リレー、ノイズフィルター、スイッチング電源、無停電電源、コンバータ、トランス

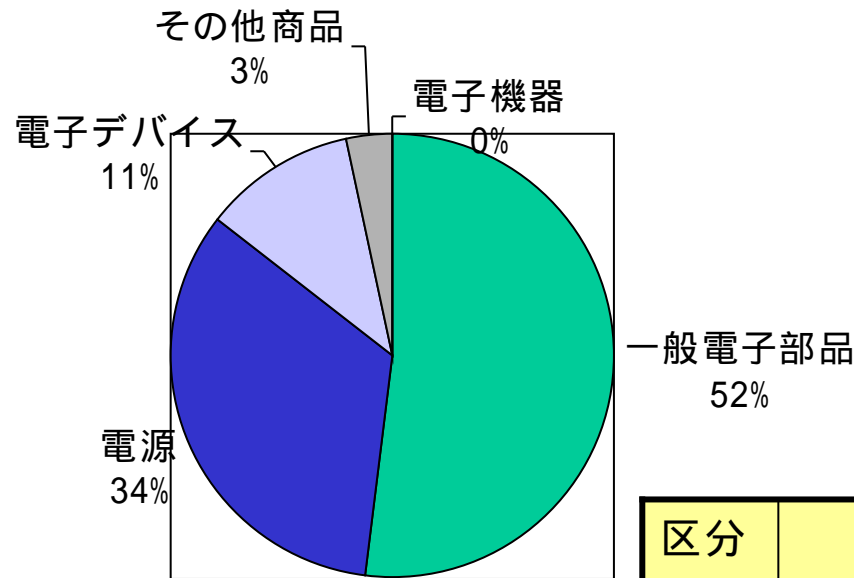
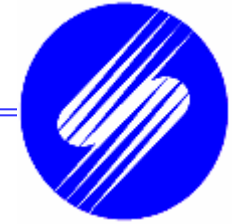
#### **【電子デバイス】**

デジタルIC（PLD、ASIC、CPU、メモリ）、アナログ（リニア）IC、ダイオード、トランジスタ、サイリスタ、パリスタ、サーミスタ、液晶ディスプレイ

# 5 . 当社グループの営業成績



## 6 . 販売構成



現在栄電子では、一般電子部品・電源を販売していた得意先に対して、電子デバイスの販売を上乘せすべく活動しております。

第41期中間期においては、一般電子部品及びその他区分において前年同期比で16%以上の減少となっております。

区分	品名	売上高実績 (千円)	前年同期比 (%)
商品	一般電子部品	2,115,666	82.3%
	電 源	1,371,433	93.8%
	電子デバイス	445,286	70.5%
	そ の 他	138,976	64.5%
製品	電 子 機 器	-	-
合計		4,071,362	83.4%

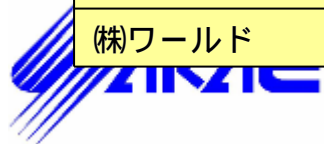
金額：連結実績



## 7. 主要取り扱いメーカー



社名	製品群
アジレント・テクノロジー(株)	LED・フォトカプラ・光ファイバーモジュール
イーター電機工業(株)	スイッチング電源
(株)沖田製作所	リードリレー・フォトDMOSリレー
ザイリンクス(株)	FPGA・CPLD
山洋電気(株)	ステッピングモータ/システム・サーボモータ/システム・クーリングファン
昭和電線電纜(株)	各種電線・遅延線
タイコ エレクトロニクス アンブ(株)	コネクタ
T D K (株)	スイッチング電源・ノイズフィルター・チップコンダクター・インダクター
中央電子(株)	ケース・システムラック
デンセイ・ラムダ(株)	スイッチング電源・UPS・ノイズフィルター
日本圧着端子製造(株)	コネクタ
日昌電機(株)	DIPスイッチ
ハーティング(株)	コネクタ
ビーアイ・テクノロジー・ジャパン(株)	トリマー・抵抗ネットワーク・トランス部品・車載アプリケーション関連商品
マイコム(株)	モーター・モータードライバー・コントローラー・パルスジェネレーター
(株)マックエイト	プリント基盤用各種端子
松下制御機器(株)	リレー・タイマー・制御部品
山一電機(株)	コネクタ・ICソケット
(株)ワールド	端子台



## 8 . 中間連結貸借対照表 (単位：千円)



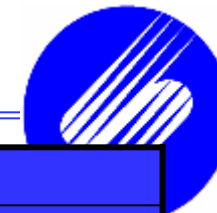
		第41期中間	第40期中間	増減
資産の部	流動資産	4,240,626	4,865,520	624,894
	固定資産	3,085,603	3,137,597	51,993
	合計	7,326,229	8,003,117	676,887
負債の部	流動負債	3,553,136	4,031,498	478,362
	固定負債	957,386	1,154,604	197,218
	合計	4,510,523	5,186,103	675,580
資本の部	資本金	500,000	500,000	-
	資本剰余金	372,500	372,500	-
	利益剰余金	1,770,275	1,683,934	86,340
	その他	172,930	260,579	87,648
	合計	2,815,706	2,817,014	1,307
負債・資本の合計		7,326,229	8,003,117	676,887

## 9 . 中間連結損益計算書 ( 単位 : 千円 )



	第41期中間	%	第40期中間	%	増減
営業収益	4,071,362	100.0	4,881,447	100.0	810,085
営業費用	3,968,595	97.5	4,616,302	94.6	647,706
営業利益	102,766	2.5	265,144	5.4	162,378
営業外収益	26,753	0.7	29,186	0.6	2,433
営業外費用	19,548	0.5	15698	0.3	3,850
経常利益	109,970	2.7	278,632	5.7	168,662
税金等調整前当期純利益	109,970	2.7	278,632	5.7	168,662
法人税、住民税及び事業税	51,941	1.3	109,869	2.2	57,927
法人税等調整額	6,555	0.2	138	-	6,416
当期純利益	51,473	1.2	168,624	3.5	117,151

## 10. 中間連結株主資本等変動計算書 (単位: 千円)



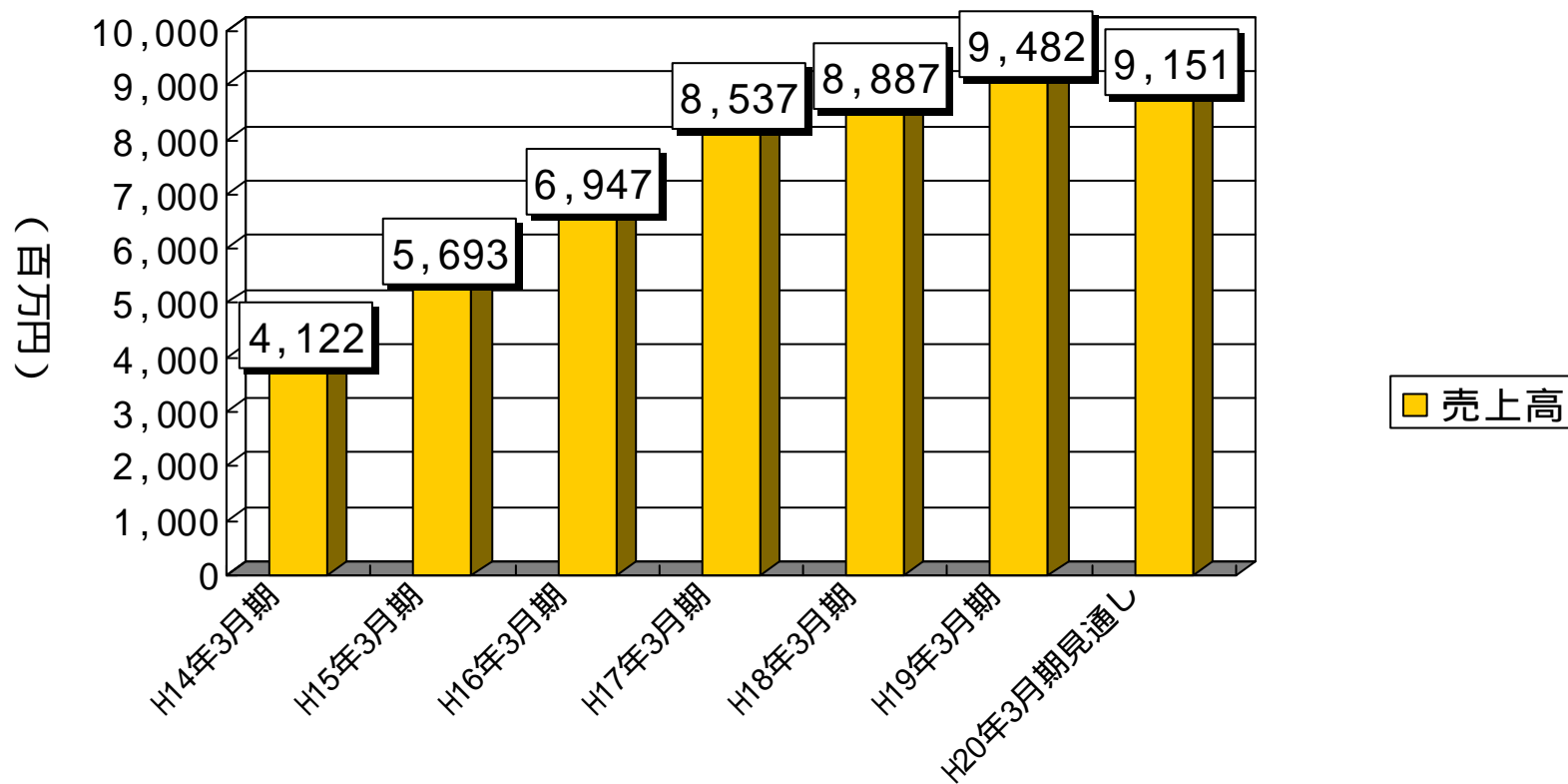
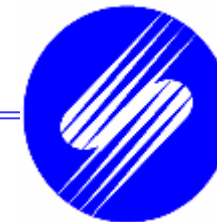
	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	500,000	372,500	1,805,251	2,965	2,674,786
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			86,449		86,449
中間純利益			51,473		51,473
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の 変動額(純額)					
中間連結会計期間中 の変動額合計			34,976		34,976
平成19年9月30日残高	500,000	372,500	1,770,275	2,965	2,639,810

## 10. 中間株主資本等変動計算書 (単位：千円)

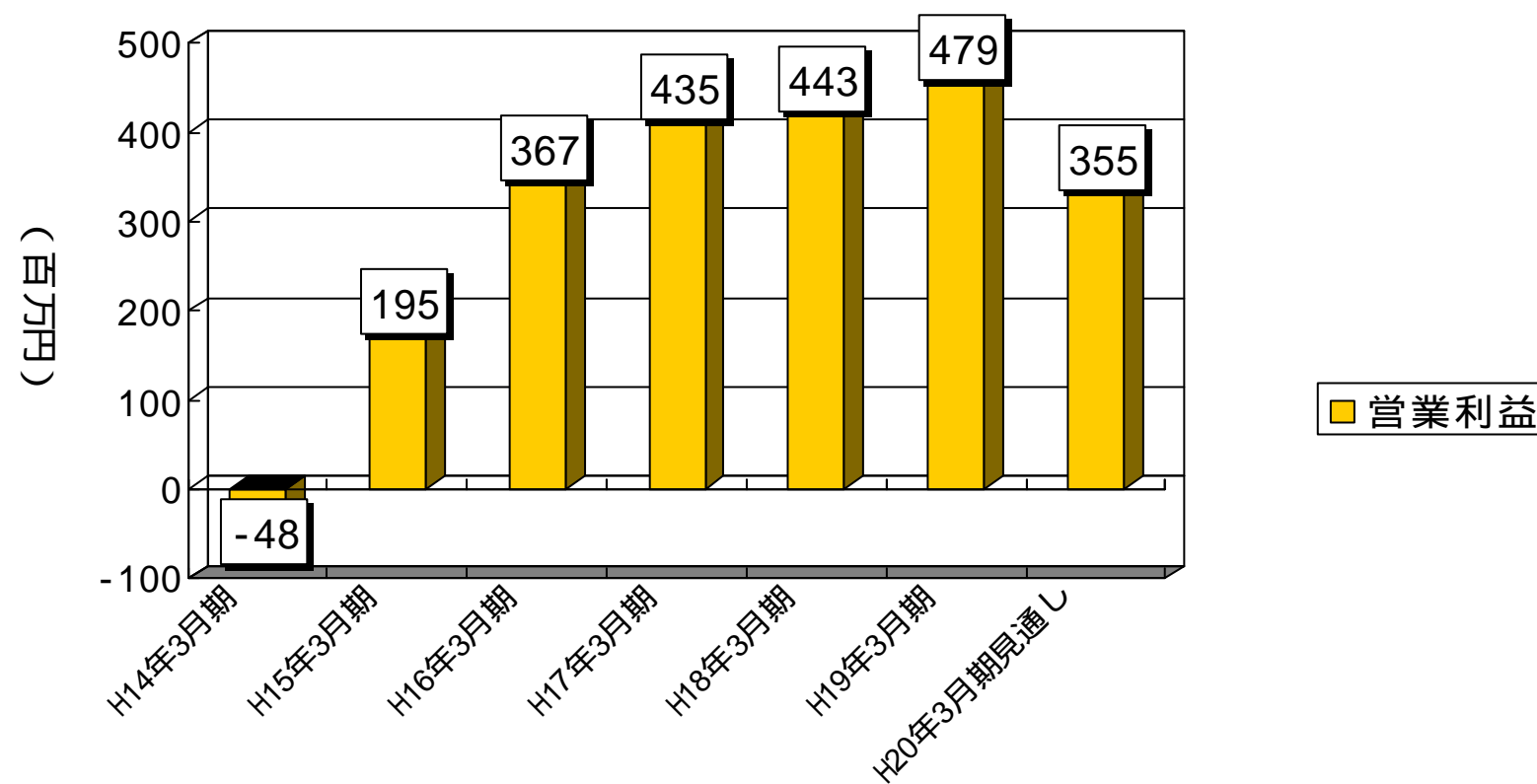
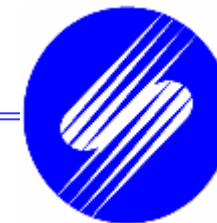


	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	229,129	229,129	2,903,915
中間連結会計期間中の変動額			
剰余金の配当			86,449
中間純利益			51,473
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の 変動額(純額)	53,232	53,232	53,232
中間連結会計期間中 の変動額合計	53,232	53,232	88,208
平成19年9月30日残高	175,896	175,896	2,815,706

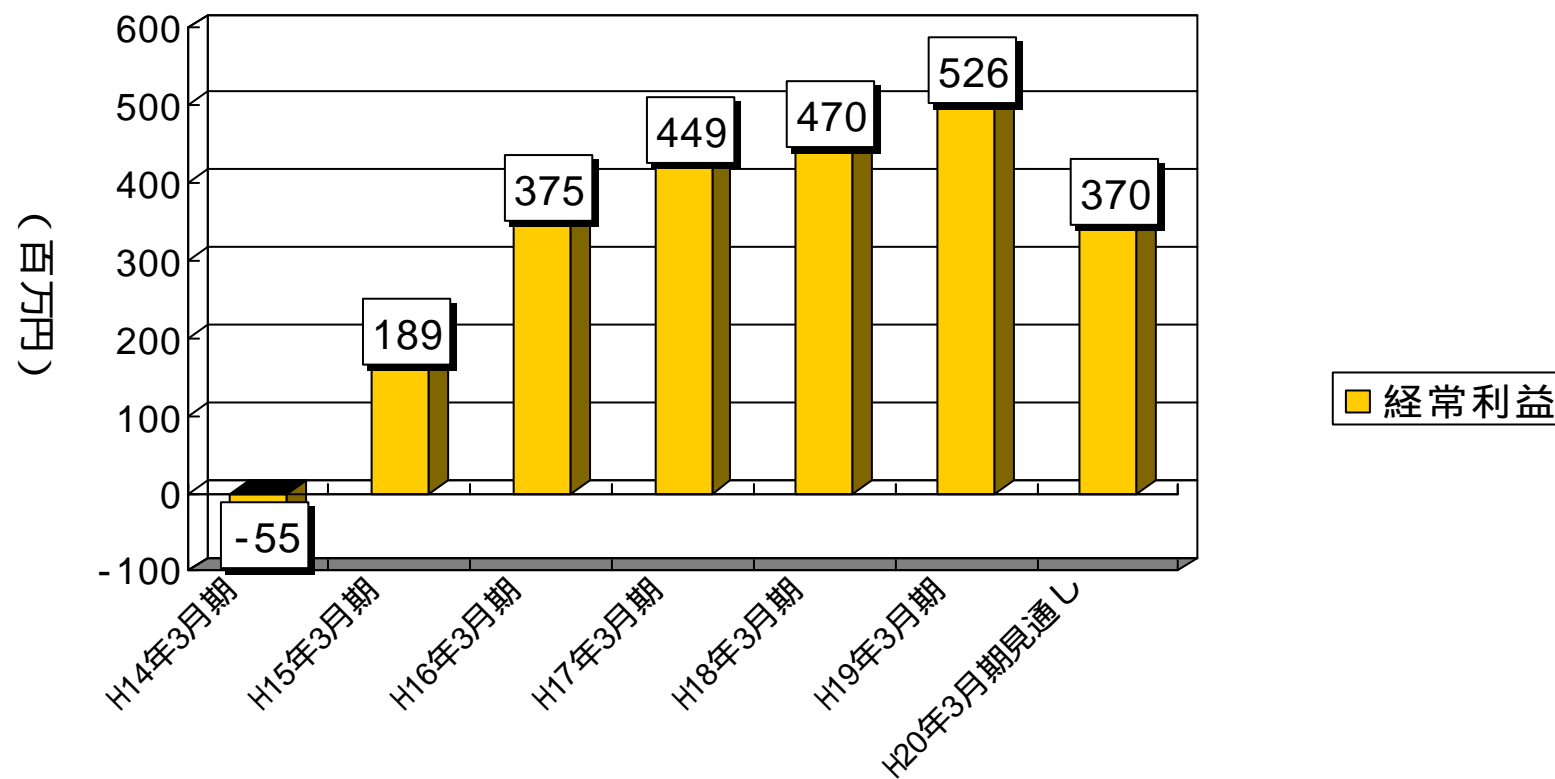
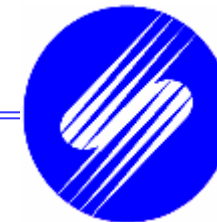
# 11. 売上高



## 12. 營業利益

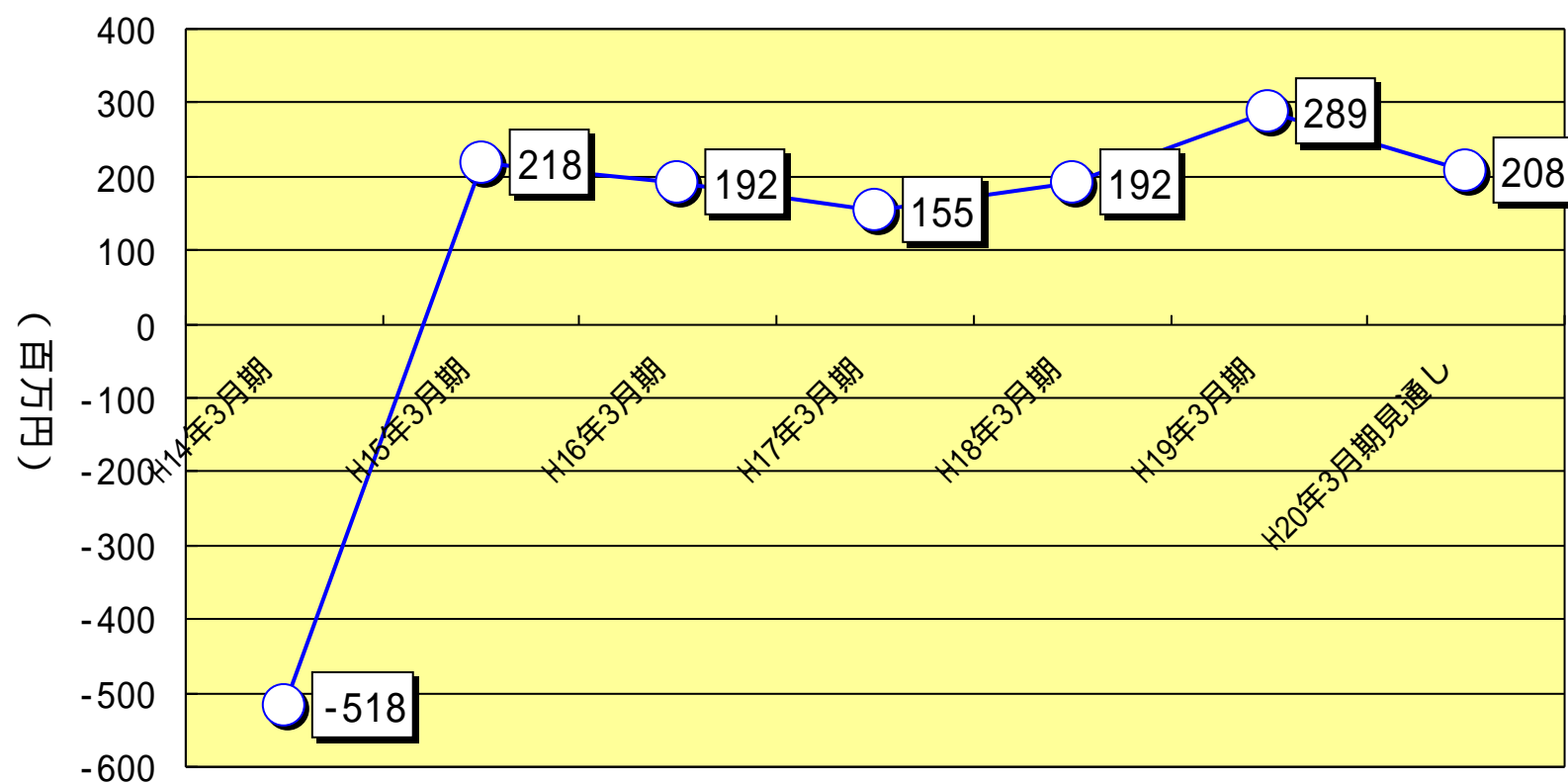
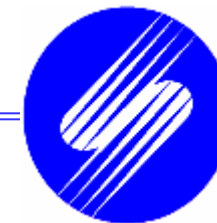


# 13 . 經常利益

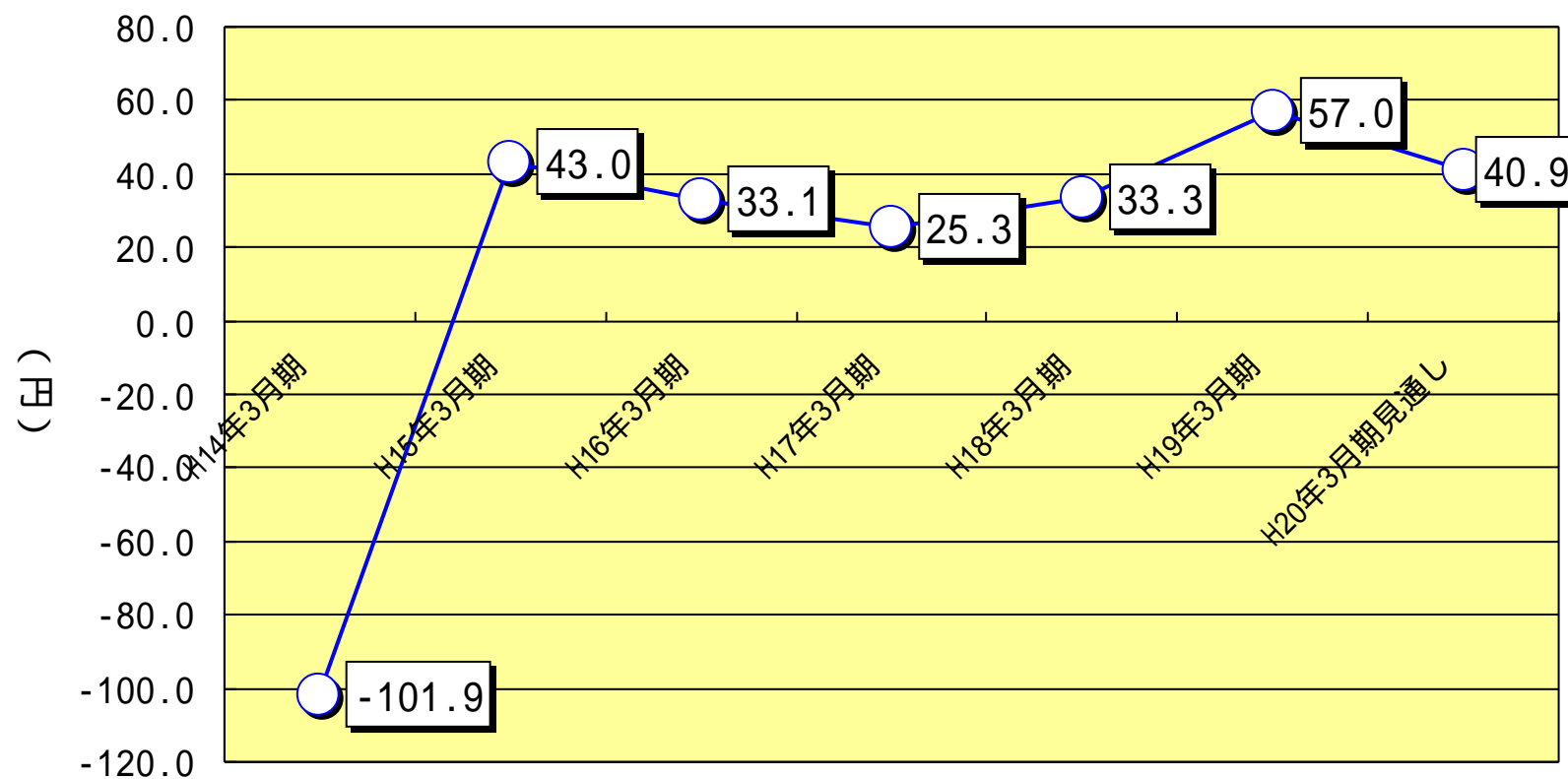
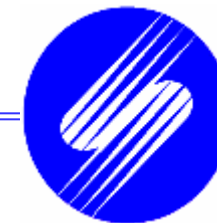




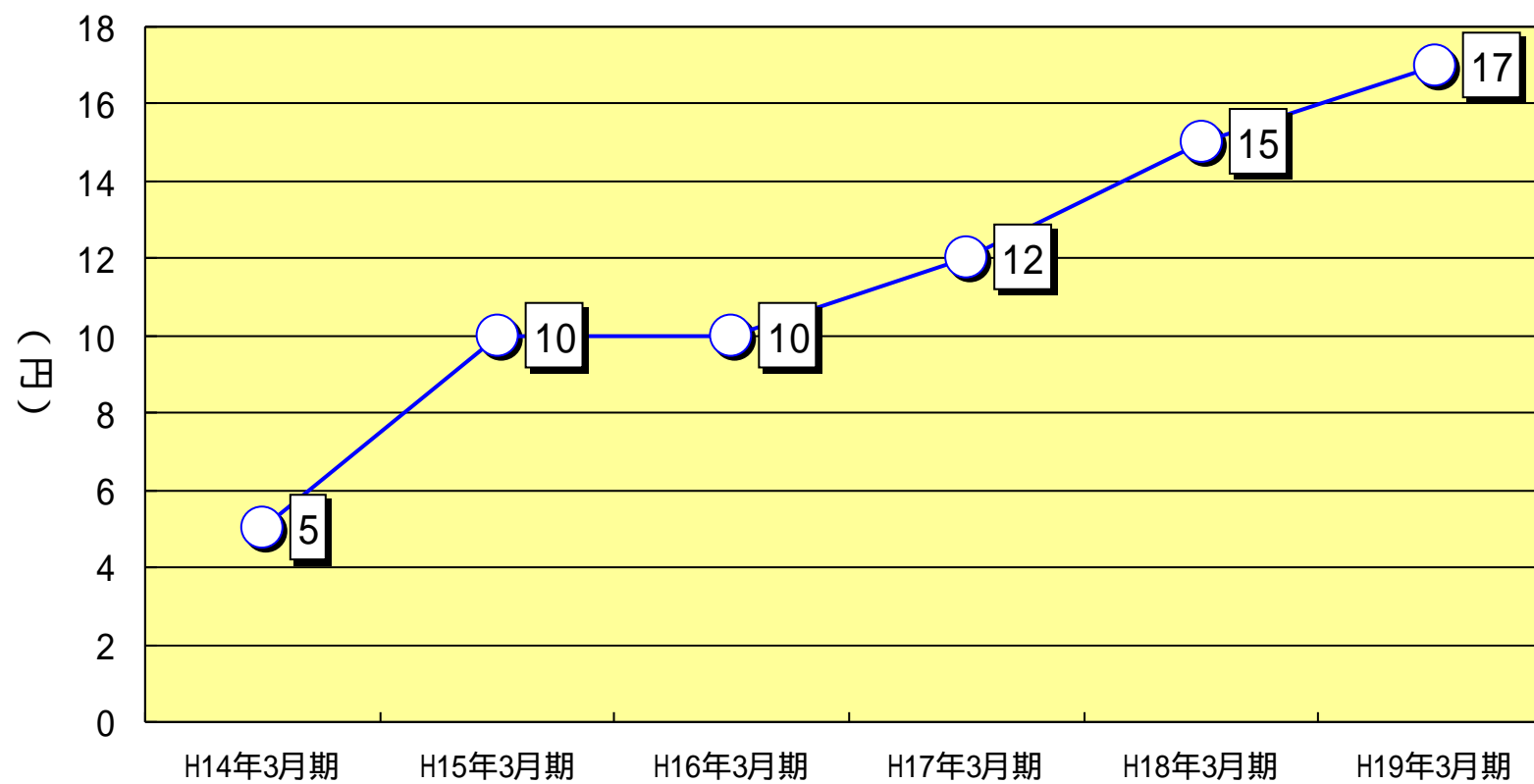
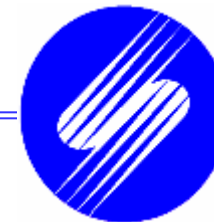
# 14 . 税引後当期純利益



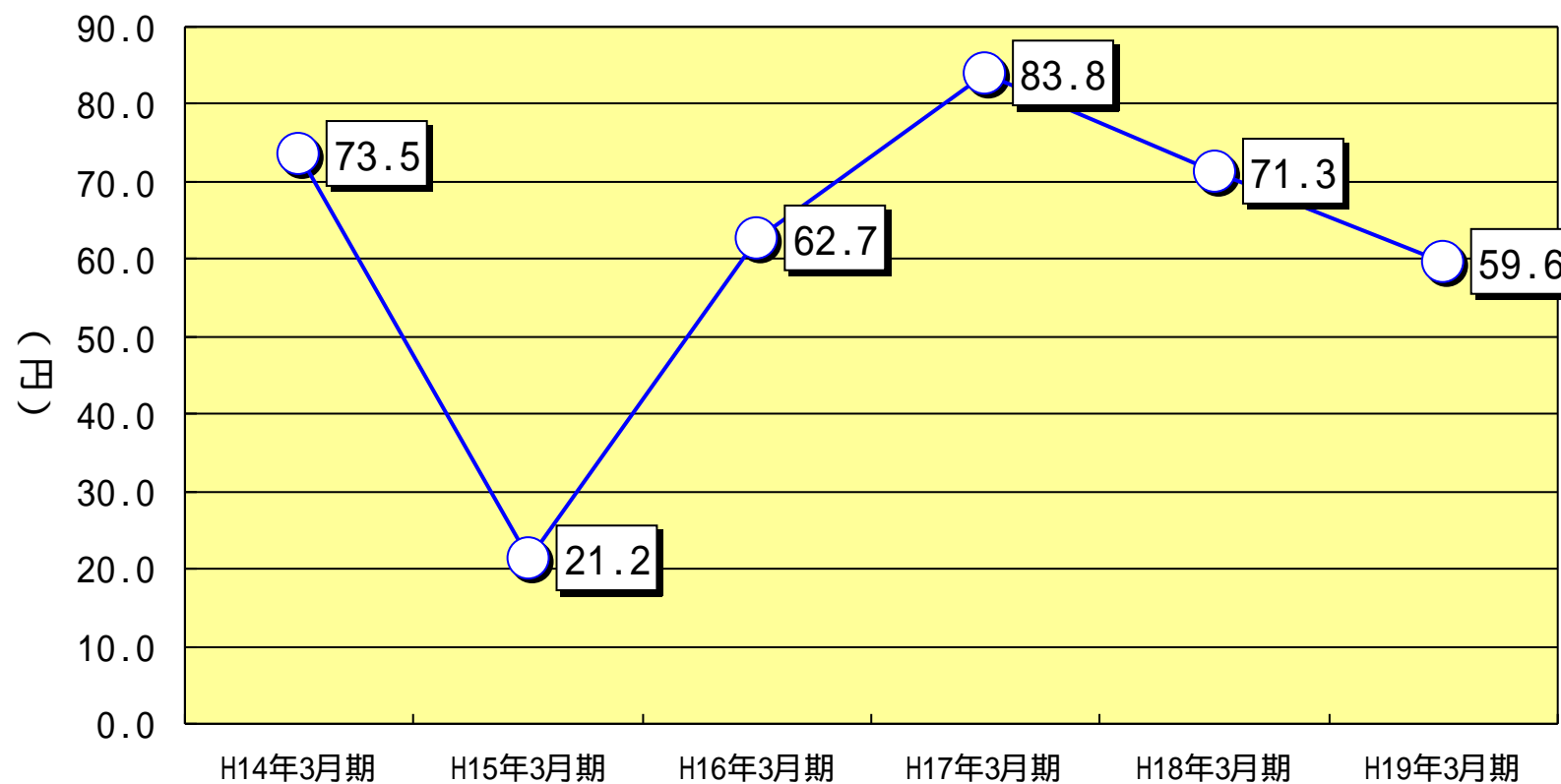
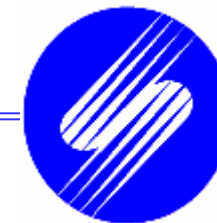
# 15. 1株当たり当期純利益



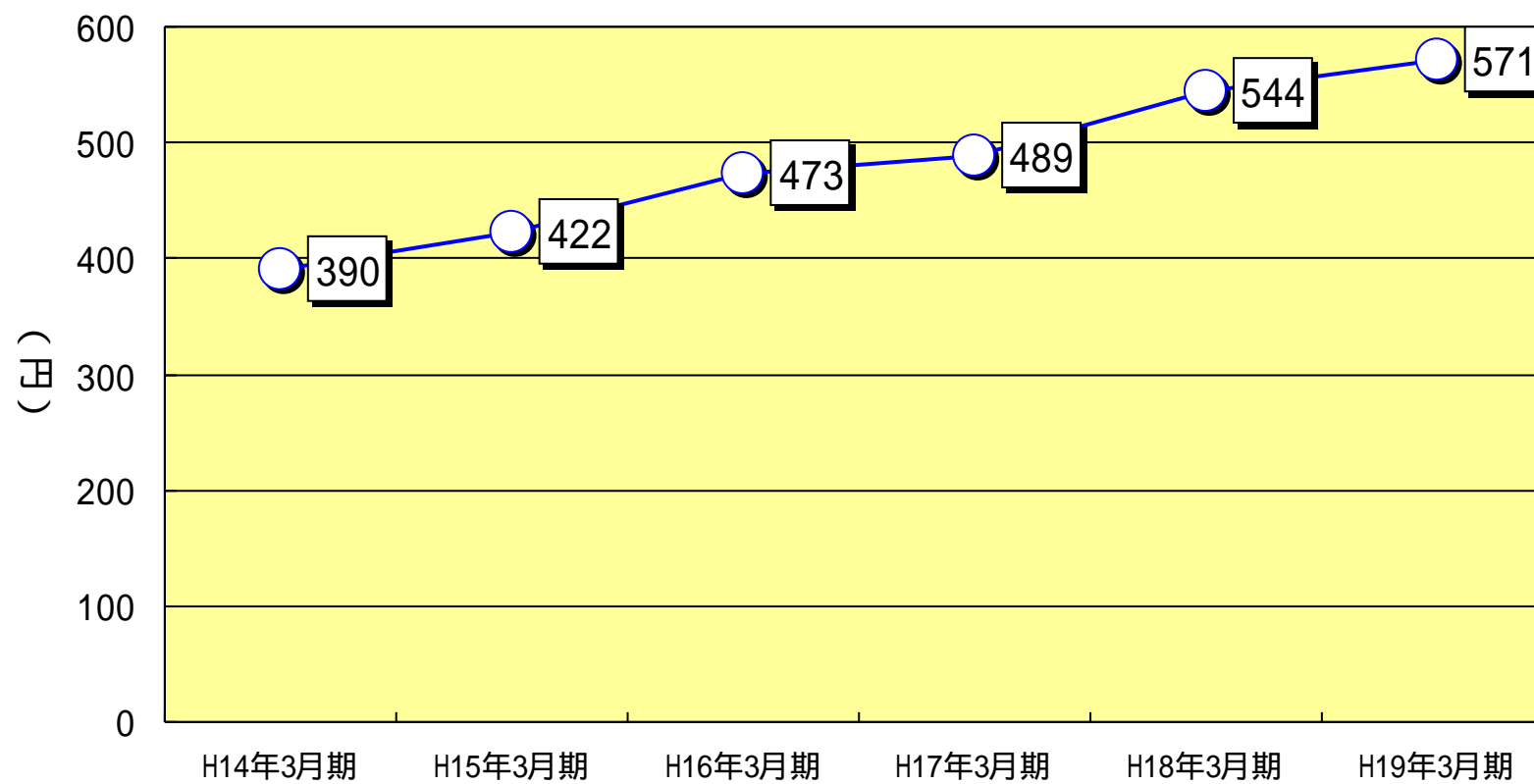
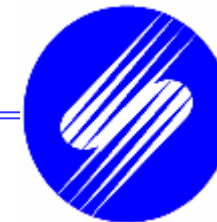
## 16. 1株当たり配当金

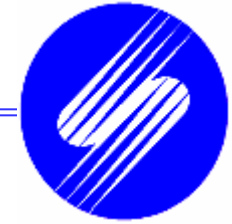


# 17. 1株当たり営業キャッシュフロー



## 18. 1株当たり純資産

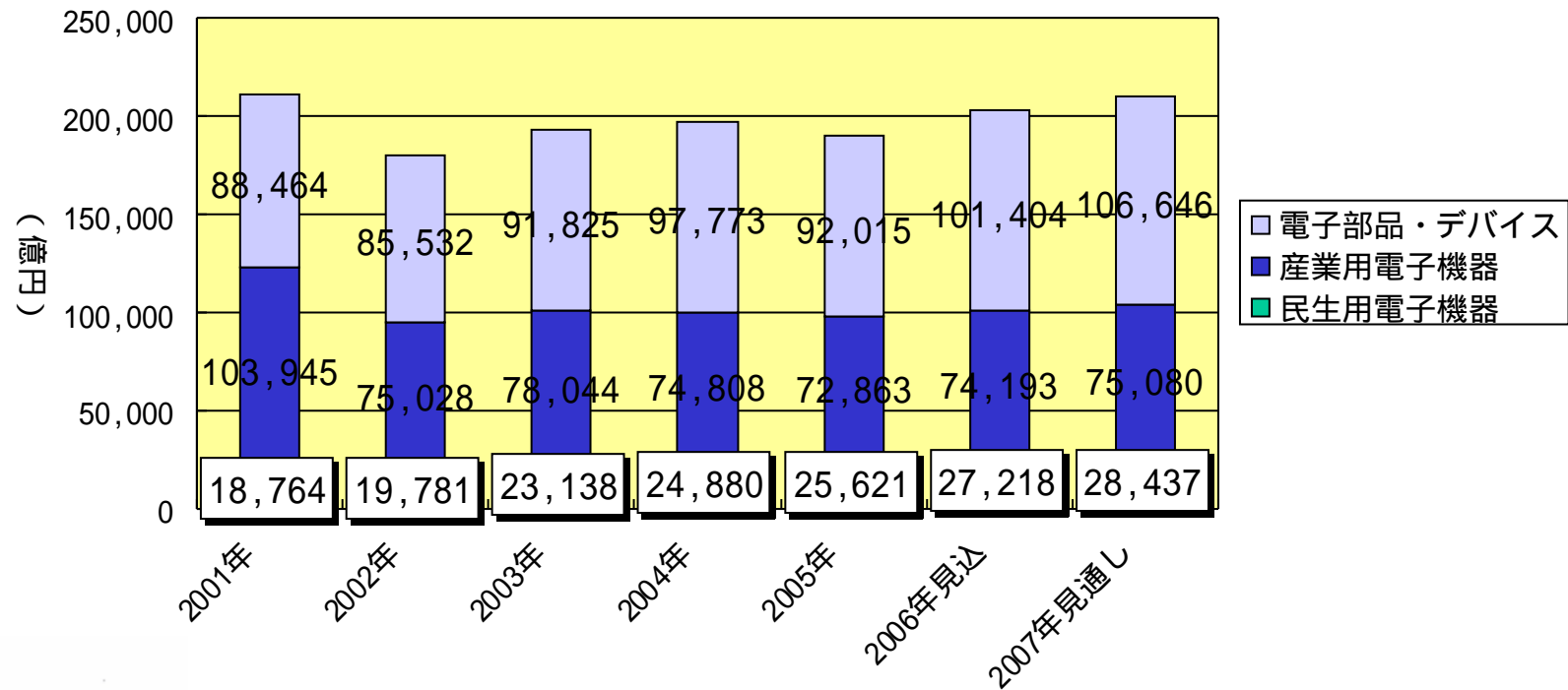


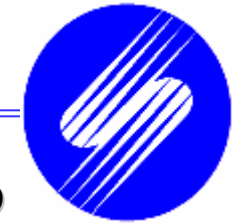


## 19. 電子部品市場の動向

JEITA（社団法人 電子情報技術産業協会）のプレスリリース（2007年電子工業生産見通し）によると、電子部品・デバイス部門は内需、外需とも堅調に推移しており、2006年、2007年とも10兆円の大台を超える予測となっています。当社としては経営資源を成長商品分野に注力し、業容拡大の基盤を構築して参りたいと考えています。

電子工業生産金額推移

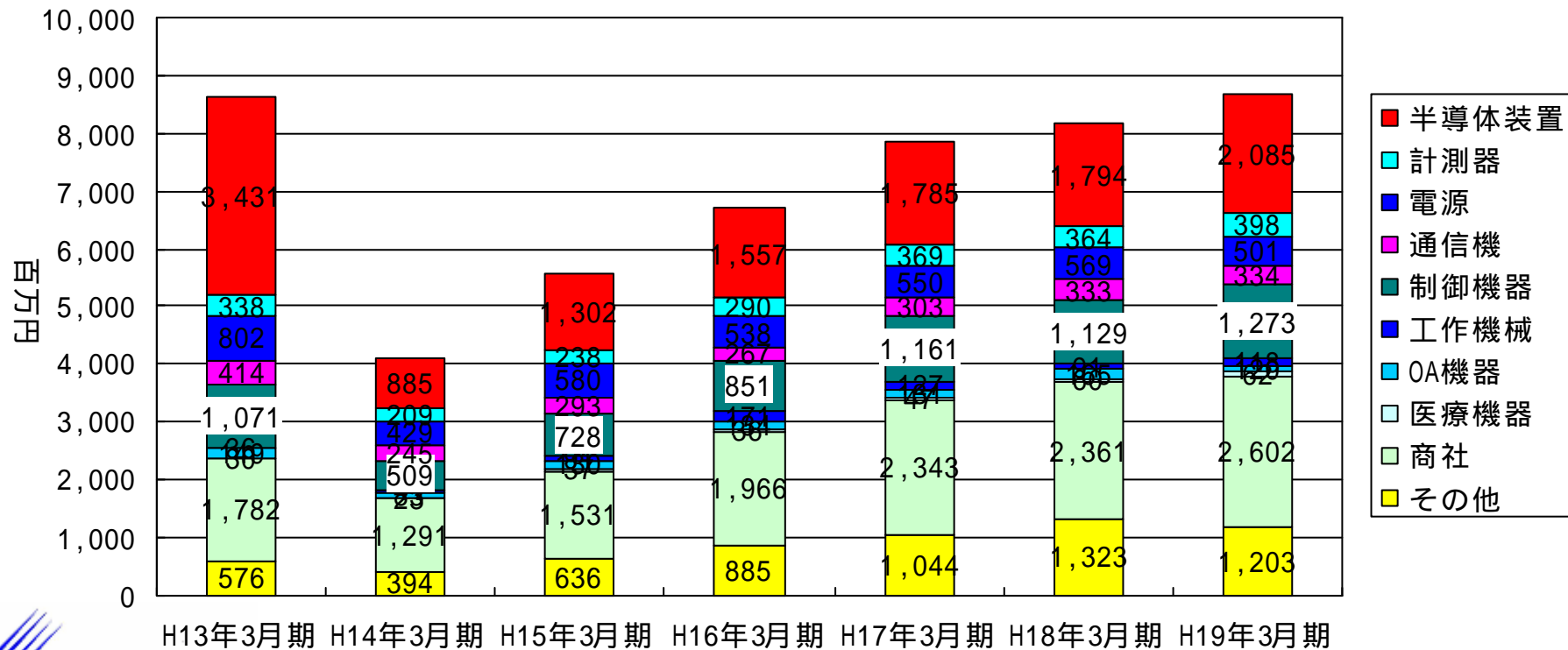


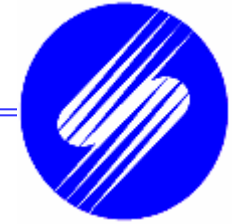


## 20．販売先業種の偏重是正

従前より当社の課題となっていた半導体装置メーカーへの取引先業種の偏重に特段の是正努力を払い、新市場・新規顧客の開拓、更に新製品の取扱増大、既存顧客の取引深耕に注力し、取引業種のバランス改善を進めております。

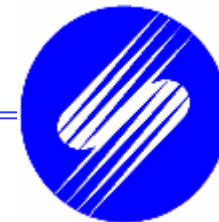
栄電子販売先別売上高（単体）



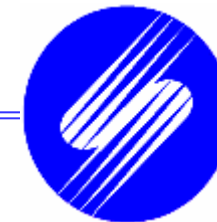


- ◆お客様購入のT D K商品の当社への切り替え
- ◆競合他社メーカー品のT D K商品への切り替え
- ◆産業機器以外の新規販売先の開拓  
( 車載品・O A 機器・遊戯機器等 )
- ◆在庫運営による即納体制づくり



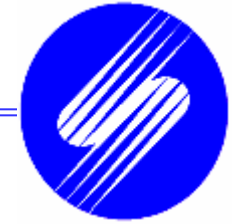


- 1 . 社会的責任を果たす次世代の育成
- 2 . 各部門の役割理解と機能強化
- 3 . 物流機能強化と基幹システム刷新



『栄電子基本の心』を胸に創業時の原点に立ち返り、風土づくり、人づくり、組織づくりに心血を注ぎ、企業としての社会的責任を果たす人材を育成する。

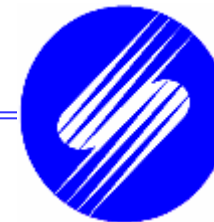
社員全員に「栄電子基本の心」の徹底  
社内管理体制の充実により規律ある社員の育成  
使命感に溢れ、夢を実現できる社員の育成  
有能で意欲ある人材の採用



## 栄電子基本の心

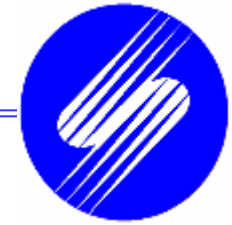
### 「お客の役に立て」

我々の会社は、お客様の支持があって  
はじめて成り立っている  
お客様に支持されるためには  
お客様の身になって考え  
努力を惜しまず行動しなければならない  
その結果が、我々に幸せと繁栄を  
もたらすのである



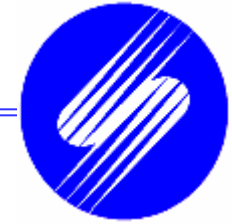
## 営業の強化

「栄電子基本の心」の精神に基づいた  
営業活動の徹底  
利益の責任部署としての  
自覚と誇りに満ちた営業部門の形成  
達成させる強い使命感、  
チャレンジ精神に満ちた人材の育成



## 購買の強化

商品の仕入に関する責任部署を自覚した、  
使命感溢れる人材の育成  
全社の在庫の責任部署として効率運営を図る  
次代を担う新商品の開発  
多様な顧客の要求に対応できる物流体制の構築

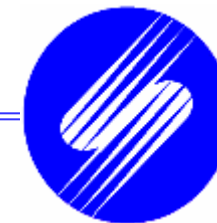


## 総務の強化

企業の社会的責任（CSR）実現に向けた、環境ISO認証取得並びに日本版SOX法への対応

ヒト、モノ、カネ、情報、ノウハウの「見える化」による透明でわかりやすい管理体制の構築

新本社建設、営業所整備・移転・出店、関連会社の総務業務集約、電子商取引開始に対応できる体制の構築



### 【栄電子 環境方針】

栄電子は、地球環境に配慮した安全でエネルギー効率の高い電子部品・電子デバイスを供給する総合商社として、次世代が安心して暮らしていく為に以下の環境方針を定め、環境マネジメント活動を実施する。

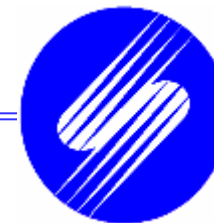
- 1 . 事業活動及び当社で提供する商品に係わる環境影響を認識し、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
- 2 . 環境関連法規及び当社が同意したその他の要求事項を遵守する。
- 3 . 事業活動及び当社で提供する商品が与える環境影響の中で、以下の項目を重点に環境マネジメント活動を行う。  
省エネルギー、省資源を推進する。  
廃棄物の削減に努める。  
リサイクル化に努める。
- 4 . 環境目的・目標は定期的に見直しを実施する。
- 5 . 環境教育の充実を図り、全社員に本方針の理解と環境に関する意識向上を推進する。

登録認証番号	JMAQA-E659
取得年月日	2006年10月12日
認証事業	産業機器市場向け 電子部品の販売 サービスの提供
認証部門	本社及び営業所
認証機関	社団法人日本能率協会 審査登録センター



次なる活動としてISO9001認証取得に向けた活動を開始





外部の物流ノウハウを活用し、情報システムの再構築を図る。

顧客との情報ネットワークの強化

メーカー・仕入先との情報ネットワークの強化

コンピュータシステムの構築